

#### D. 考察・結論

1. 個々のたばこ政策によって重要なステークホルダーが異なることが示された。これは、それぞれの政策に応じて異なった戦略が必要となることを意味している。

2. また、ステークホルダーによっては、喫煙に対する賛否と個別政策に対する賛否が必ずしも一致しない場合がある。例えば、議員の場合、喫煙自体に賛成・反対という立場と、増税に賛成・反対という立場は異なる場合がある（喫煙に賛成していても、必ずしも増税に反対しているわけではない、など）。喫煙に対する賛否なのか、政策の手法に関する賛否なのか、十分に見極める必要がある。

3. たばこ産業側も、個々の政策については、意見が必ずしも一致していない可能性が示された。特に、神奈川県受動喫煙防止条例（文献2）では、JTとフィリップモリスの対応に大きな差があり、後者がより支持的であったことが示されている。それも最終的にはフィリップモリス側の大きな戦略の一環ではあろうが、個別の政策を推進する際には留意すべき事柄と考えられる。

4. たばこ問題は、賛否の立場がある程度決まっている場合が多いが、さらに対策を推進していくためには、立場が中立的でパワーが大きいステークホルダーの支持が重要になってくる。今回の結果で中立かつパワーが大きいとされた「市町村」「都道府県」などの行政やマスメディアの支持の有無は重要な要素と考えられ、これらのステークホルダーに対するアプローチとして、世論

を喚起するなどのアドボカシー戦略が重要になってくるものと考えられた。

5. 本研究の課題として、ステークホルダーの中でもパワーや賛成・反対が異なる可能性があるため、さらに詳細に分類、分析する必要がある。また、ステークホルダーの間の近接性をさらに検討し、複数のステークホルダーを組み合わせて推進すべき方策を考えていく必要がある。

#### 参考文献

- 1) Kammi Schmeer. Stakeholder Analysis Guidelines (PAHO)  
(<http://www.lachsr.org/documents/policytoolkitforstrengtheninghealthsectorreformpartii-EN.pdf> より入手可能)
- 2) 松沢成文. 受動喫煙防止条例—日本初、神奈川県発の挑戦. 東京：東信堂，2009.
- 3) 厚生労働省. 受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会. 議事録 2008—2009.  
(<http://www.mhlw.go.jp/shingi/other.html#kenkou> より入手可能)
- 4) 日本たばこ産業ウェブサイト  
(<http://www.jti.co.jp/>)
- 5) フィリップモリス・インターナショナルウェブサイト  
(<http://www.philipmorrisinternational.com/JP/pages/jpn/Default.asp>)
- 6) 全国たばこ販売協同組合連合会ウェブサイト (<http://www.zenkoku-tabakoya.jp/>)
- 7) 全国たばこ耕作組合中央会ウェブサイト (<http://www.jtga.or.jp/index.html>)
- 8) たばこ問題情報センターウェブサイト (<http://www.tbopic.org/>)
- 9) 日本禁煙学会ウェブサイト

(<http://www.nosmoke55.jp/>)

10) 日本禁煙推進医師歯科医師連盟ウェブサイト (<http://www.nosmoke-med.org/>)

11) 「子どもに無煙環境を」推進協議会ウェブサイト

(<http://www3.ocn.ne.jp/~muen/>)

F. 研究発表 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況 なし

### III. 研究成果の刊行に関する一覧表

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

#### 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
繁田正子	高校・大学での教育、成人に向けた教育	日本禁煙学会	禁煙学第2版	南山堂	東京	2010	254-259
福田吉治、他	大人が子供たちに伝えなければならぬタバコに関する8つの真実	福田吉治	大人が子供たちに伝えなければならぬタバコに関する8つの真実	山口大学医学部地域医療学	山口	2009	全16ページ
谷口千枝		田中英夫	事例で学ぶ禁煙治療のためのカウンセリングテクニック	看護の科学社	東京	2009	

#### 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Okamoto N, Miyagi Y, Chiba A, et al.	Diagnostic modeling with differences in plasma amino acid profiles between non-cachectic colorectal/breast cancer patients and healthy individuals.	Int J. Medicine and Medical Sciences	1	1-8	2009
Sakuma Y, Okamoto N, Saito H, et al.	A logistic regression predictive model and the outcome of patients with resected lung adenocarcinoma of 2cm or less in size.	Lung Cancer.	65	85-90	2009
Numasaki R, Miyagi E, Okamoto N, et al.	Analysis of stage IVB endomeyrial carcinoma patients with distant metastasis: a review of prognoses in 55 patients	Int J Clin Oncol	14	344-350	2009
Miyakawa K, Tarao K, Okamoto N, et al.	High serum alanine amino-transferase levels for the first three successive years can predict very high incidence of hepatocellular carcinoma in patients with Child Stage A HCV-associated liver cirrhosis.	Scand J Gastroenterol	44	1340-1348	2009
繁田正子	国際的視点からみる日本のタバココントロールの現状.	日本肺癌学会雑誌	49	113-121	2009
繁田正子	喫煙のリスク(成人女性)	薬局	60	2340-2346	2009
繁田正子	喫煙と臨床(特定健診)	治療学	43	203-207	2009
繁田正子	禁煙対策は特定健診・保健指導の要になる	地域保健	40	52-55	2009
繁田正子	タバコ学事始め	京都府立医大雑誌	118	699-709	2009

繁田正子	禁煙治療の実際（カウンセリング・行動療法）	Modern Physician	29	1739-1743	2009
繁田正子	禁煙治療の実際（薬物療法）	Modern Physician	29	1748-1749	2009
繁田正子	禁煙をめぐるメリット・デメリット	THE LUNG perspective	18	44-48	2009
Hanioka T, Ojima M, Tanaka H, et al.	Intensive Smoking-cessation Intervention in the Dental Setting	J Dent Res	89	66-70	2010
Ojima M, Hanioka T	Destructive effects of smoking on molecular and genetic factors of periodontal disease	Tobacco Induced Diseases	8	4 (E-pub)	2010
Haresaku S, Hanioka T, Yamamoto M, et al.	Impact of a tobacco curriculum on smoking behaviour and attitudes toward smoking in dental students in Japan: a three-year follow-up study	Int Dent J		In press	2010
黒澤 一	症例呈示（関心期）—喫煙継続と禁煙の相反する潜在希望をもった一例	Modern Physician	29	1772-1774,	2009
黒澤 一	症例呈示（無関心期）—呼吸器感染症状で来院し COPD の説明から禁煙指導につなげた一例	Modern Physician	29	1769-1771	2009
Tamura U, Tanaka T, Tanaka H, et al.	Changes in weight, cardiovascular risk factors and estimated risk for coronary heart disease following smoking cessation in Japanese male workers: HIPOP-OHP Study	J Atheroscler Thromb	17(1)	12-20	2010
Shitara K, Matsuo K, Tanaka H et al.	Heavy smoking history interacts with chemoradiotherapy for esophageal cancer prognosis: a retrospective study	Cancer Sci	in press		2009
田中政宏, 田中英夫, 谷内佳代, 他	がん専門病院における禁煙支援クリニックの実施.	厚生の指標	56(15)	13-19	2009
田中政宏, 谷中佳代, 田中英夫, 他	医療機関職員の喫煙状況調査 全国がんセンターモデル調査.	公衆衛生	73	154-158	2009
田中英夫	禁煙治療・指導	治療学	149(2)	115-118	2009
村上了太	酒類とタバコの利害関係者のあり方に関する国際比較研究	経済論集（沖縄国際大学）	5(1)	57-72	2009
村上了太	村上了太「医療従事者以外の利害関係者によるタバコ対策—企業の社会的責任を含めた経営学的検討—	経済論集（沖縄国際大学）	6(2)	97-110	2010

